

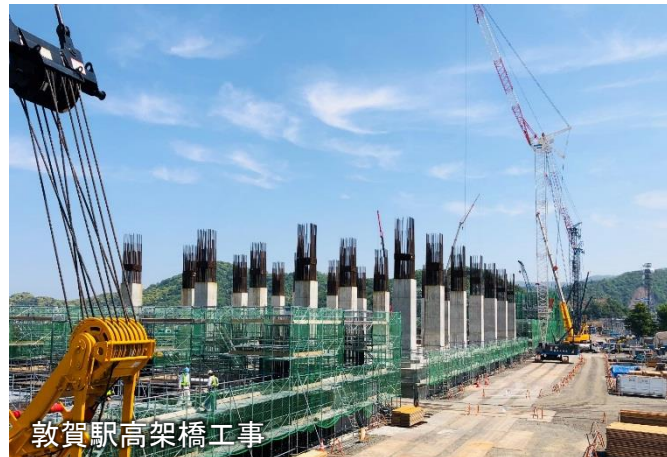
# 北陸新幹線レポート 《第8号》

## ～響くつち音、広がる未来～

令和元年8月4日発行

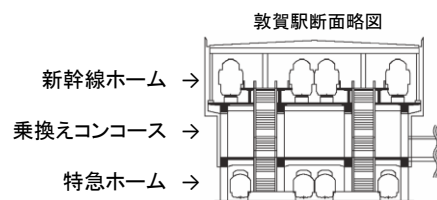
令和5年春に敦賀まで開業予定の北陸新幹線。現在、沿線では工事が着々と進められています。本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

### 敦賀駅高架橋 ～沿線最大駅の工事が目に見えて進展～



福井・敦賀開業により始発・終着駅となる敦賀駅。高さが35m（12階建てのビルに相当）に及ぶ北陸新幹線沿線で最大の駅舎となります。特急との乗換え時間を短縮するため、1階が特急ホーム、2階が乗換えコンコース、3階が新幹線ホームという3層構造（上下乗換え方式）になります。

現在、駅舎の土台となる高架橋工事を施工中。3層構造を支える巨大な橋脚が立ち並び、駅の輪郭が現れ始めています。

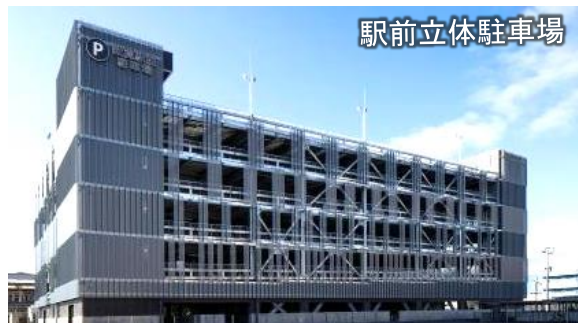


### 敦賀駅周辺のまちづくり ～駅前立体駐車場が竣工～

敦賀市は、港まち敦賀の玄関口にふさわしい賑わい交流の拠点とするため、敦賀駅西地区の整備を進めています。

6月29日には、駅前立体駐車場が供用開始。駅利用者の利便性向上はもとより、二次交通機能の充実を図るため、立体駐車場内にレンタサイクルやカーシェアリングの拠点も配置しており、気比神宮や金ヶ崎エリア、さらには嶺南全域を訪れる観光客の増加が期待されます。

また、駅西地区では民間資本を活用した官民連携事業を実施しており、宿泊施設や飲食・物販施設、知育・啓発機能を備えた公共施設等を官と民の役割分担のもと、一体的に整備します。



駅前立体駐車場

駅西地区官民連携事業イメージ



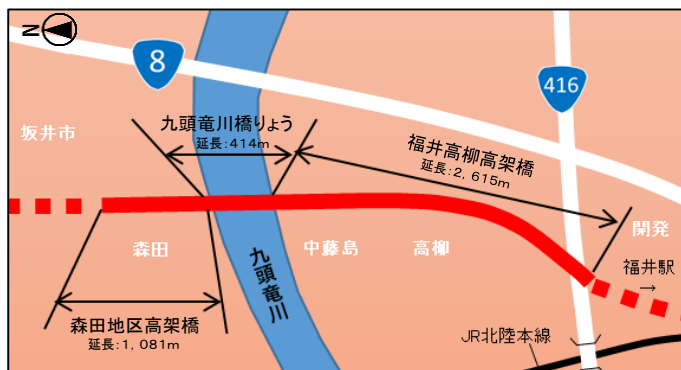
知育・啓発施設イメージ



## 九頭竜川橋りょうに続き、森田地区高架橋がつながりました！

福井市の中藤島地区と森田地区を結ぶ全長414mの九頭竜川橋りょうの橋桁が5月につながり、6月には北側（右岸側）に隣接する延長約1kmの森田地区高架橋もつながりました。

南側（左岸側）に隣接する福井高柳高架橋も9月に完成予定であり、これにより、新幹線の構造物が坂井市・福井市境から国道416号までの市街地を約4kmにわたって縦断することになります。

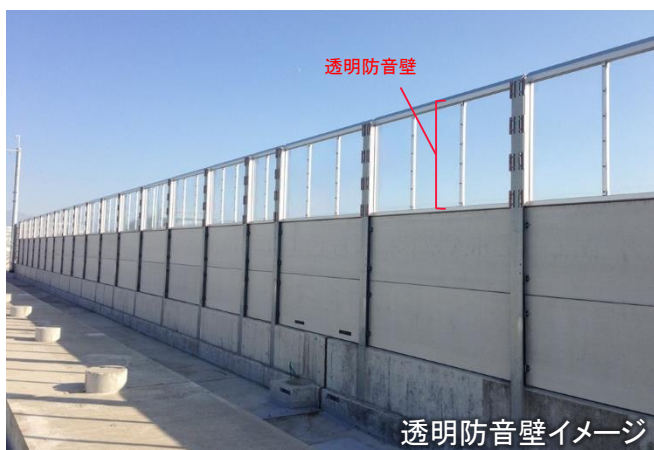


## 透明防音壁の設置により北陸新幹線の車窓からの眺望を確保

トンネル以外の明り区間には、騒音対策として高さ2～3.5mの防音壁を設置します。騒音の程度により防音壁の高さは異なりますが、2mを超えると新幹線の車窓から景色が見えなくなります。

車窓からの眺望は、福井のまち並みや自然景観を伝える重要な手段であり、乗客の満足度を高めるものです。

このため、JR西日本の協力を得て、防音壁の高さが2mを超える県内約20km（上り・下り合計。以下同じ。）の区間のうち、約8kmに透明防音壁を設置することになりました。これにより、県内明り区間の85%に当たる約6.6kmについて車窓からの眺望が確保され、乗客に駅周辺のまち並みや九頭竜川の豊かな自然、坂井平野の美しい田園風景などを楽しんでいただけるようになります。



## 新幹線駅舎の内部をVR動画で体感

鉄道・運輸機構は、福井・敦賀開業時に設置される4つの新幹線駅について、旅客流動や案内設備に関する様々な検討をするため、コンピューターグラフィックスを用いて駅舎内の内装や設備を描いたVR（バーチャルリアリティ）画像や乗客の視点で描いたVR動画を作成しました。

VR動画は、駅舎の入口から改札を通過してホームまで移動する風景を乗客の視点で描いており、実際に駅舎の中を歩いているような状況を体感できます。

この動画は、今後、出前講座等で活用していく予定です。

### 【VR動画イメージ】



## 鉄道建設所の紹介(第1回) あわら鉄道建設所

現在最盛期を迎えているトンネルや高架橋などの土木工事。県内では鉄道・運輸機構の4つの建設所がエリアを分けて工事を担っています。

このコーナーでは、4回にわたり、各鉄道建設所が所管する工事の概要を紹介します。

### あわら鉄道建設所

所在地:あわら市国影第13号13番地

☎0776-43-0250

#### 【所管】

区 域:あわら市樋山～坂井市春江町寄安

工区数:14工区(トンネル2、明かり部7、上部工5)

あわら鉄道建設所は、石川・福井県境から坂井市・福井市境に至る約1.8kmを所管しています。

トンネル工事が4分の1、明かり部工事が4分の3を占めるほか、駅舎として芦原温泉駅が設置されます。

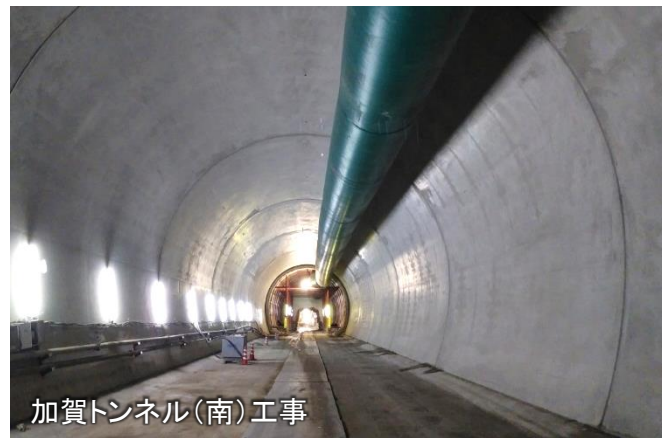
#### 【主な工区】

加賀トンネル(南)他(延長約2.3km)

石川県との県境に位置する加賀トンネル(延長約5.5km)は、3工区に分けて施工しており、あわら鉄道建設所では南側約1.4kmを所管しています。5月に掘削を終え、石川県側も含めた加賀トンネル全体としては10月頃に貫通する予定です。

竹田川橋りょう他(延長約1.4km)

新幹線がS字状に流れる竹田川を直線でまたぐため、3つの橋りょうを架設します。昨年10月に基礎工事が完了。現在、橋桁の架設を行っており、3つの橋りょうのうち一番南側の第3竹田川橋りょうは6月に橋桁がつながりました。



# 福井県に新しい鉄道会社が誕生します

2019年8月、県・市町・民間の出資を受けて、福井県並行在来線準備株式会社が設立されます。近年の人手不足の状況を受け、開業までに必要な社員数を確実に確保し、十分な研修期間を設けるため、会社設立の時期を当初の予定から1年早めることとしました。

## 今後のスケジュール

2019年8月

福井県並行在来線準備株式会社設立

- ・所在地 福井市
- ・資本金5億円（20億円に増資予定）  
県・市町・民間が出資
- ・開業までにプロパー社員100名採用（約30人/年）

2020年度

第1期生入社、経営計画の策定

2021年度

本格会社に移行（資本金の増資、商号の変更など）

2023年春

開業

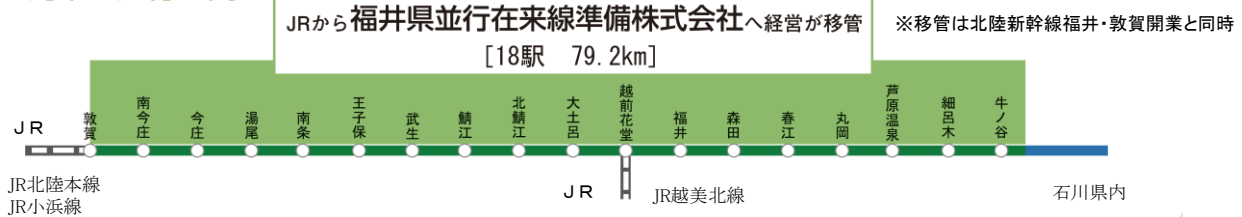


写真提供：JR西日本

### 【並行在来線について】

北陸新幹線福井・敦賀開業後にJR西日本から経営分離される北陸本線（石川県境～敦賀駅）区間で、新しく設立される鉄道会社が運行を担うこととなります。

### 列車の運行区間



## 利用促進策について

並行在来線の安定経営のためには収入増につながる利用促進策の実施が不可欠です。今後は市町や民間とともに運行計画や利用促進策等を検討し、経営計画に反映する予定です。

### ■他県の利用促進策の事例

#### 【富山県】あいの風とやま鉄道（H27.3.14開業）

- ・新駅「高岡やぶなみ駅」の設置（H30.3開業）
- ・観光列車「一万三千尺物語」の運行
- ・サポート団体「あいの風とやま鉄道 ファンクラブ」の設置



#### 【石川県】IRいしかわ鉄道（H27.3.14開業）

- ・東金沢駅で市営パーク&ライド駐車場の整備
- ・サポート団体「いしてつ愛あーるクラブ」の設置
- ・ICカード「ICOCA」の導入

#### 【新潟県】えちごトキめき鉄道（H27.3.14開業）

- ・観光列車「えちごトキめきリゾート雪月花」の運行
- ・サポート団体「トキてつサポーターズクラブ」の設置

発行：福井県地域戦略部新幹線建設推進課  
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1  
Tel：0776-20-0298

Email:shinkansen@pref.fukui.lg.jp

写真提供：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

建設現場の定点写真をホームページで公開中！



福井県 新幹線工事

検索